事例No.	2108
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	和歌山県

事例区分	DX

タグ	・交通事業 ・ICT ・観光

事例種類	交通

事例内容・タイトル

わかやま交通・運輸事業者支援（タクシーのキャッシュレス化を推進）

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

128 わかやま交通・運輸事業者支援（タクシーのキャッシュレス化を推進）【和歌山県】

事業の概要

○ 地域住民、観光客の利便性の向上のみならず、感染症対策を目的として、タクシー車両におけるキャッシュレス化を促進する事業を実施している。

○ 特に、外国人観光客が利用可能となるようなクレジットカード決済や、他の交通モードとの連携が可能な非接触型ICカード（交通系ICカード等）への対応が可能となるよう、必要な決済端末等の機器を導入する経費に対して、タクシー事業者に補助金を交付した。

○ より多くのタクシー車両への導入を促すため、キャッシュレス決済端末を導入する場合に必要となる、タクシーメーターや管理システムの導入経費も補助対象とした。

○ 補助事業の概要
・実施年度：令和３年度
・補 助 率 ：中小企業　３／４、
　　大企業２／３
＜実績＞
・導入事業者数、車両数：
　　１０事業者、１５７台



【参考情報①】 人口：92.1万人
関連URL： ー

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）
和歌山県内のタクシー事業者においては、QRコード決済の普及は進んでいるものの、クレジットカードや非接触型ＩＣカードによるキャッシュレス決済の導入率が全国に比べ低い状況にありました。
今般の、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点において、乗務員と利用者の接触機会を減らすことや、ポストコロナ時代を見据えた観光客等の利便性向上のため、複数のキャッシュレス決済方法への対応が必要であると考え、機器を導入する事業者を支援することに至りました。



（和歌山県）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して事業を実施しました。





事業実施に当たってのポイントを教えてください。

少しでも興味を持っているタクシー事業者を個別訪問し、そのニーズを把握をするとともに、キャッシュレス決済導入について粘り強く働きかけを行いました。



★担当：和歌山県企画部地域振興局 総合交通政策課★

令和3年度事業費　28,776千円
（うち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）　28,776千円）